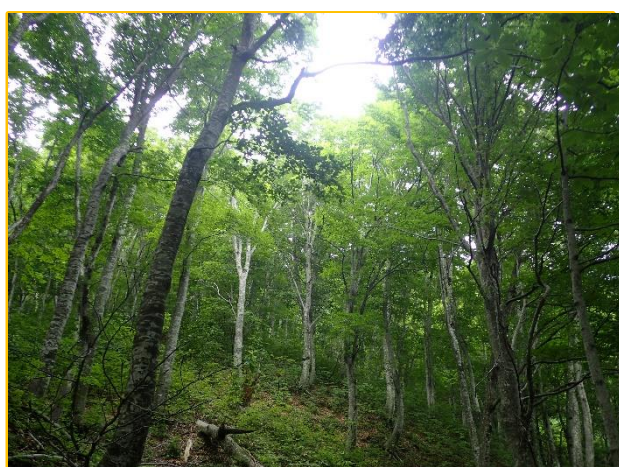
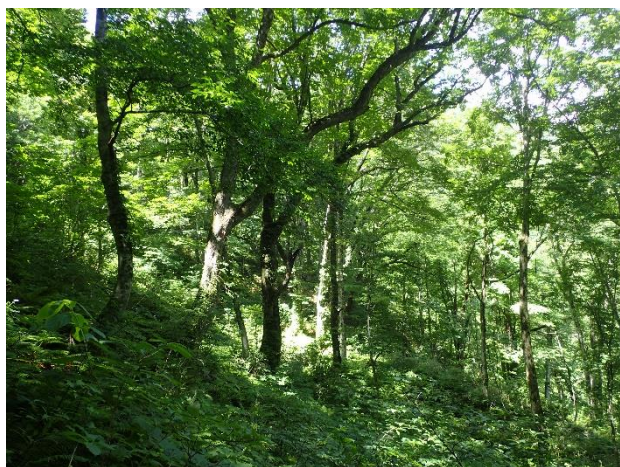


白神山地森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県(西津軽郡鮭ヶ沢町、深浦町、中津軽郡西目屋村)
面積	12,627.09ha(全体16,971.24ha)
設定年	平成2年
保護林の概要 (設定目的)	日本海型の典型的なブナ林を主体とする原生的な天然林を保存することにより、白神山地における森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林の管理・学術研究等に資することを目的とする。世界遺産委員会第17回通常会議で、原生的なブナ林が大面積にわたって純林状態で維持されている世界的にも希少な地域であるとして、平成5年12月11日に世界自然遺産に登録された。



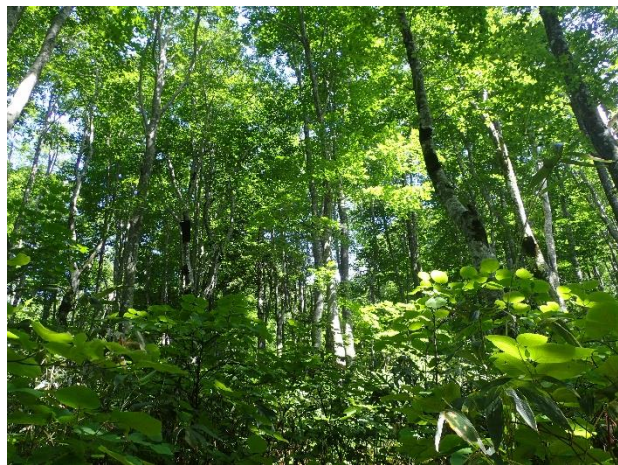
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、野生動物の生息状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ等の生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。哺乳類自動撮影、鳥類スポットセンサスを実施。
結果概要	ブナを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。各プロットでブナの稚樹が確認された。ツキノワグマ等の中・大型哺乳類、森林性鳥類等が確認された。ニホンジカの侵入について引き続き監視体制を強化する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

八甲田山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県(黒石市、平川市)
面積	1,191.69ha(全体6,409.70ha)
設定年	平成元年
保護林の概要 (設定目的)	奥羽山脈の北端にある八甲田連峰は、「道南下北津軽型」、「東北太平洋型」及び「東北日本海型」の接点となる地域に位置し、自然状態が十分に保存された天然林を主体とする森林が広く分布し、地域固有の生物群集がまとまりを持って存在する区域であることから、この区域の生物群集を保護・管理する。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、野生動物の生息状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ、アオモリドマツ等の生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。哺乳類自動撮影、鳥類スポットセンサスを実施。
結果概要	森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。中・大型哺乳類、鳥類では森林性種の生息が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

大鰐スギ、ヒバ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県南津軽郡大鰐町
面積	33.36ha
設定年	大正5年
保護林の概要 (設定目的)	当保護林は、スギ・ヒバ混交天然林を保存し、自然の遷移による林相や植生等の変化について観察並びに学術上の考証に資するための保護林として設定された。



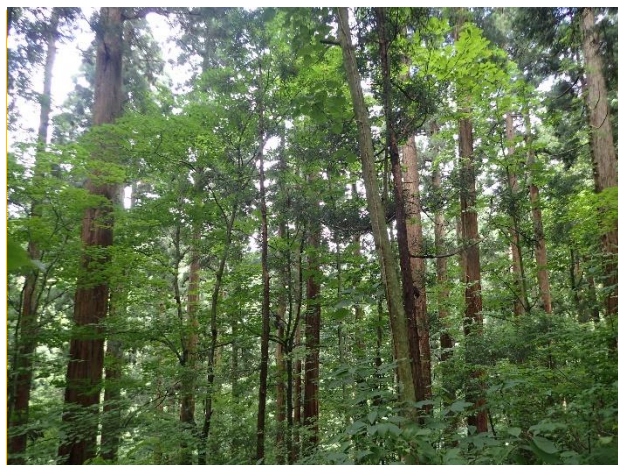
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、スギ、ヒバの生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	スギ、ヒバを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種スギ、ヒバの大径木の生育が維持されていた。各階層でヒバの生育が確認された。スギは高木層、亜高木層での生育が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

遠部沢スギ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県平川市
面積	21.25ha
設定年	昭和31年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	当保護林は、秋田スギ系統のスギを保存し、自然の遷移による林相や植生等の変化について観察並びに学術上の考証に資するための保護林である。



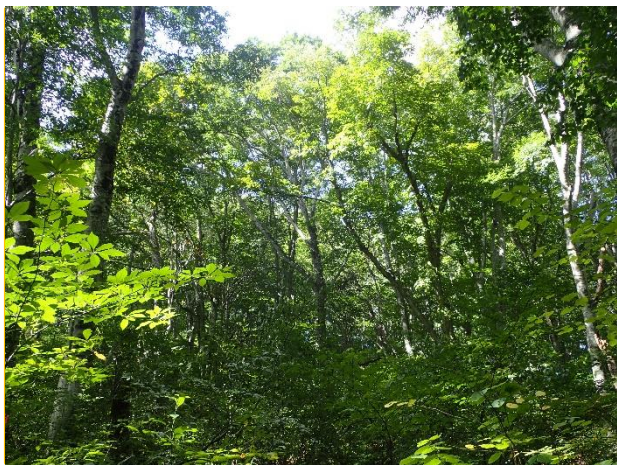
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、スギの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	スギを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。護対象樹種スギの毎木調査結果から順調な個体生長がみられた。また各階層における生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

奥赤石ブナ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県西津軽郡鮎ヶ沢町
面積	18.13ha
設定年	昭和53年
保護林の概要 (設定目的)	本保護林は、世界遺産白神山地(森林生態系保護地域)の北側に位置しており、日本海型ブナの遺伝資源の保存を目的としている。



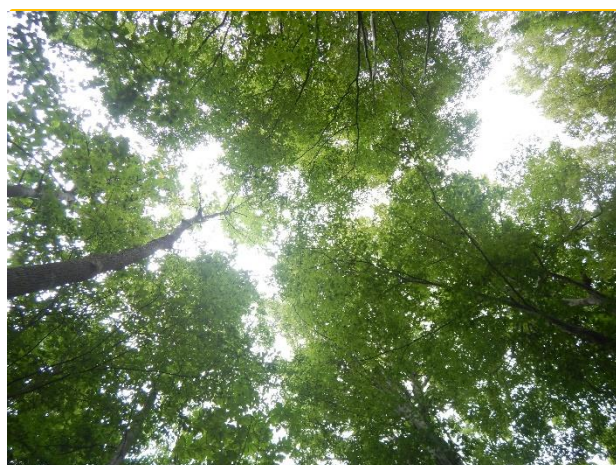
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ブナを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種ブナは、各階層において良好な生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

青荷沢ブナ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県黒石市
面積	13.76ha
設定年	昭和2年
保護林の概要 (設定目的)	八甲田山の西に位置するブナ林の遺伝資源の保存、観察並びに学術上の考証に資するための保護林として設定された。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ブナを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった保護対象樹種ブナは、各階層において良好な生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

太鼓山ネズコ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 津軽森林管理署
所在地	青森県弘前市
面積	10.00ha
設定年	昭和61年
保護林の概要 (設定目的)	太鼓山の東斜面に位置するネズコ林の遺伝資源の保存、観察並びに学術上の考証に資するための保護林として設定されている。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ネズコ(クロベ)の生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ネズコ(クロベ)を主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種ネズコは、高木層、亜高木層の生育個体は良好な状態であった。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

矢倉山スギ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署
所在地	青森県西津軽郡鮭ヶ沢町
面積	8.48ha
設定年	昭和62年
保護林の概要 (設定目的)	本保護林は、標高381.5mの土倉山(通称:矢倉山)の南西緩斜面に生育する天然スギの遺伝資源の保存を目的として設定された。



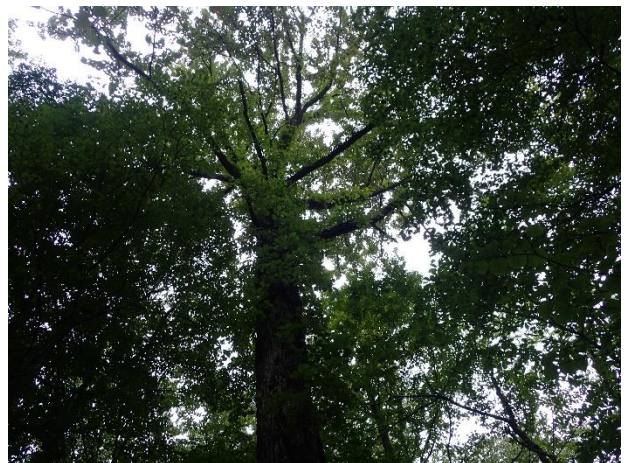
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、スギの生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	スギを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種スギは、大径木の生育が維持されており、各階層で生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

南追良瀬ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 津軽森林管理署
所在地	青森県西津軽郡深浦町
面積	6.11ha
設定年	平成2年
保護林の概要 (設定目的)	本保護林は、世界遺産白神山地(森林生態系保護地域)の北側に位置しており、ウダイカンバ、ドロノキの遺伝資源の保存を目的としている。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査として、ウダイカンバ、ドロノキの生育地において調査ルートを設定し、樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	ウダイカンバを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種ウダイカンバは高木層、亜高木層で、またドロノキは高木層で良好な生育が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

十三クロマツ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局津軽森林管理署金木支署
所在地	青森県五所川原市
面積	5.35ha
設定年	平成2年
保護林の概要 (設定目的)	日本海に面し、十三湖の北に位置する植栽クロマツ林の遺伝資源の保存、観察並びに学術上の考証に資するための保護林。



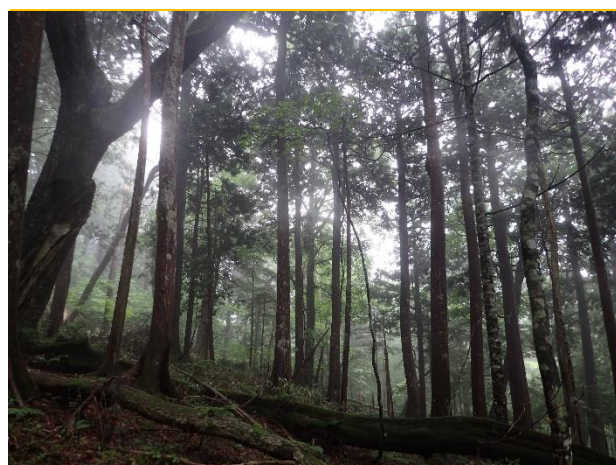
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査として、クロマツの生育地において調査ルートを設定し、樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	クロマツを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種クロマツは高木層、亜高木層で良好な生育が確認された。林縁部等に見られるハリエンジュは引き続き、生育状況を確認していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

早池峰山周辺森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署
所在地	岩手県宮古市
面積	4,120.08ha(全体8,144.71ha)
設定年	平成5年
保護林の概要 (設定目的)	本保護地域は、早池峰山周辺の原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林の管理・学術研究に資することを目的として設定された。早池峰山北面には国指定天然記念物「アカエゾマツの自生南限地」がある。森林以外にも原生的な自然が良好に保持されており、特産種、希産種を含む数多くの高山植物が生育し、我が国における高山植物の宝庫となっている。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、野生動物の生息状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ、ヒバ等の生育地で調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。哺乳類自動撮影、鳥類スポットセンサスを実施。
結果概要	ブナ、ヒバ等の樹木の生育が見られ、林相は維持されていた。一方、ニホンジカの個体数が増加傾向にあり、下層植生への食害も確認されているため、周辺地域での生息状況及び保護林内の森林への影響を注視し、被害に対応していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

権現シラカンバ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署
所在地	岩手県下閉伊郡岩泉町
面積	5.25ha
設定年	昭和62年
保護林の概要 (設定目的)	早坂高原の東に位置するシラカンバ林の遺伝資源の保存、観察並びに学術上の考証に資するための保護林。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査として、シラカンバの生育地において調査ルートを設定し、樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	シラカンバを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種シラカンバは高木層、亜高木層で良好な生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。 ※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

早池峰山ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署
所在地	岩手県宮古市
面積	5.31ha
設定年	昭和62年
保護林の概要 (設定目的)	本保護林は、早池峰山森林生態系保護地域の北側に位置しており、ウダイカンバの遺伝資源の保存を目的としている。



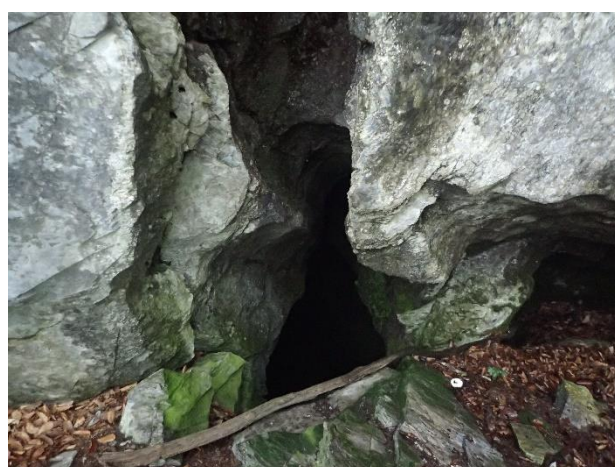
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査としてウダイカンバの生育地において調査ルートを設定し樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	保護対象樹種ウダイカンバの良好な生育が確認された。一方、ニホンジカの個体数が増加傾向にあり、下層植生への食害も確認されているため、周辺地域での生息状況及び保護林内の森林への影響を注視し、被害に対応していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

イタダキ沢コキクガシラコウモリ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署
所在地	岩手県下閉伊郡岩泉町
面積	22.33ha
設定年	昭和42年
保護林の概要 (設定目的)	岩手県岩泉町の安家川上流部に位置する、松ヶ沢鍾乳洞に生息する天然記念物「コキクガシラコウモリ」及びその繁殖地の保護。林況はブナを主とする落葉広葉樹とキタゴヨウの混交林。



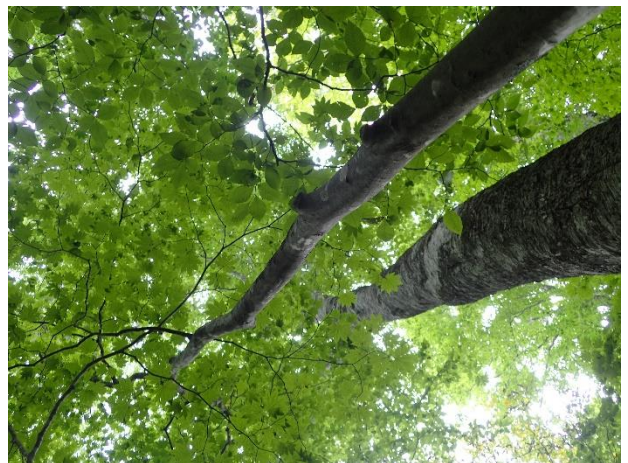
モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、コキクガシラコウモリの生息地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ブナを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。生息場所とされる洞穴入口付近にてコウモリ類の一種1個体の飛翔が確認された。洞穴付近の崩落等や樹木の被害等はなく、ブナ等も健全に生育していた。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

安家森ブナ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署
所在地	岩手県下閉伊郡岩泉町
面積	17.74ha
設定年	昭和62年
保護林の概要 (設定目的)	北上山地北部に残存する優良ブナ林の北限地として、ブナの遺伝資源の保存、観察並びに学術上の考証に資するための保護林として設定された。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ブナを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種ブナの生育本数、胸高断面積合計はほぼ維持されおり、各階層での生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

侍浜松希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署
所在地	岩手県久慈市
面積	7.21ha
設定年	昭和30年
保護林の概要 (設定目的)	岩手県久慈市の北部侍浜地区に位置する、この一帯の丘陵地帯に広範に成育しているアカマツは南部アカマツの系統をくみ形質優良なため、特に「侍浜松」として有名。その天然林の保存を目的とし、併せて林相・植生の推移の観察と学術考証の資料とする。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査として、アカマツの生育地において調査ルートを設定し、樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	アカマツを主体とした森林に病虫害、鳥獣害等の被害は見受けられなかった。保護対象樹種アカマツは高木層、亜高木層で良好な生育が確認された。林相等に大きな変化はなく、安定して維持されていることが判明した。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

浅俣ヒメコマツ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局置賜森林管理署
所在地	山形県東置賜郡川西町
面積	8.22ha
設定年	昭和41年4月
保護林の概要 (設定目的)	低山(標高360~470m)に群生している天然生のヒメコマツ林分として貴重なものである。天然生のヒメコマツ林分の保存と学術研究に資することを目的とする。



モニタリング調査概要

実施年度	令和2年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林概況調査として、保護対象樹種の生育地において調査ルートを設定し、樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	保護対象樹種は高木層、亜高木層で良好に生育しており、草本層で実生が確認された。ミズナラの枯損木を確認、ナラ枯れ発生の可能性が考えられる。また、シカの食痕等が確認された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。